



超高齢社会に向けて

神戸市老人クラブ連合会 (KOBEシニアクラブ)
理事長 近藤豊宣

新年明けましておめでとうございませう。皆様方には健康やかに新春をお迎えになられたことと心よりお喜び申し上げます。

平素は神戸市老人クラブ連合会の諸事業推進に対し、格別のご理解とご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、2025年を迎え、背景となる「少子高齢化」が急激に進むことが懸念されます。特に「団塊の世代」が75歳以上となり、国民の約5人に1人が後期高齢者、約3人に1人が65歳以上の高齢者

という超高齢化社会を向かえることになりませう。

このような状況を考えるとき、会員一人一人が互いに支え合い、励まし合いながら楽しみを共にし、長寿の喜びを実感できる人間関係の醸成が極めて大切となります。

私たちが目指す「健康・友愛・奉仕」を基に、会員一人一人が、健康に留意し、地域の中心となつて、支え合う仲間と、若い世代を巻き込んで、生きがいのある環境づくりを、積極的に進めていく役割が重要です。



新年に寄せて

神戸市長 久元 喜造

新しい年を迎えるにあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

本年1月17日で、阪神・淡路大震災から30年が経過します。神戸は、市民の皆さんが力をあわせて助け合うとともに、国内外のたくさんの方々から温かい支援をいただき、復興を果たしてきました。そしてこの間、災害に強いまちづくりを着実に進めるとともに、国内外の被災地支援、復興支援に積極的に取り組んできました。

この経験、教訓を次世代に継承し、広く国内外に発信するため、本年1月から12月にかけて震災30年事業を実施し、この1年を未来に向けた年としていきます。また、春からはいよいよ神戸空

港での国際チャーター便の運用が始まり、神戸の陸・海・空の要衝としての機能がさらに強化されます。加えて、大阪・関西国際万博の機会を捉え、神戸市においても、観光・ビジネス需要の創出を推進し、市内経済のさらなる活性化を図ります。

一方で、日本の人口は2008年をピークに減少しており、神戸市の人口も同じ傾向をたどっています。このような時代において、神戸市がまちづくりに追いつくためには、未来にわたってこのまちを引き継いでいく「持続可能性」、まさに「SDGs」の価値観です。これからは神戸市は、豊かな自然の活用や保全、都心部の緑化に取

り組んでまいります。併せて、次代を担う子どもたちの教育の推進、健康・福祉の増進などに一層取り組んでいきます。

今後、時代の変化や要請を的確に捉え、未来を見据えたまちづくりに全力で取り組み、「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現を確かなものにしていきます。市民の皆さんには、神戸市政に對しまして引き続きご理解とご協力を賜りますとともに、現在策定に向けて取り組んでいる新たな総合基本計画にご意見をいただき、ともに神戸のまちづくりを進めていただきますようお願い申し上げます。

市老連では、今後の取り組みとして、情報化社会への適用、組織強化のための会員増強、友愛活動の重視、地域活動への参画、特殊詐欺被害の防止等、各区老連との連携を密にしながら、様々な事業に取り組みでまいります。

終わりに、会員の皆様方には、本年も市老連事業へのご支援とご協力をお願いいたしますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げ新年のご挨拶いたします。



第53回全国老人クラブ大会



第53回全国老人クラブ大会が、令和6年11月20日(水)～21日(木)神奈川県神奈川県民ホール大ホールで開催され、全国各地から1,254名の老人クラブ会員等が参加しました。

KOBEシニアクラブ(神戸市老人クラブ連合会)から近藤豊宣理事長をはじめ、各老連の代表、今回表彰を受ける皆さんが参加し、式典では、全国で234名、111団体が表彰され、代表者が村木厚子全老連会長から賞状を授与されました。

【全国老人クラブ連合会会長表彰】(順不同、敬称略)

- 女性リーダー育成功労表彰
重松 桂子(神戸市老連女性委員会委員長)
- 若手リーダー育成功労表彰
濱田 亀志政(灘区老連副会長)
- 優良老人クラブ表彰
東灘区深江親交クラブ(会長 川島 行男)



KOBEシニアクラブHPもぜひご覧ください!

市老連の活動内容や各種行事のお知らせ、区老連及び単位クラブの活動状況などを掲載しています。QRコードからぜひチェックしてみてください!

